

環境共生住宅 20周年記念シンポジウム

環境と共生する住まいとまちづくり

“環境共生住宅”は、省エネ・CO2削減という数値的な性能だけでなく、緑豊かで健康・快適な住まいとまちなみを合わせもつ「心地よい居住環境」です。環境と共に生きる心の満足感を味わえるすまい・まちです。社会全般にわたる低炭素化が緊急の課題として進められる中で、生活の質の核心をなすものです。

今回は、この心の満足感にスポットを当て、環境共生住宅を核とした様々な拡がり、その可能性を描きます。

心の満足感とは・・・

暮らしの“原点”である自然、自然観。それを活かした、地域に伝わる技術や仕組み。現代では弱体化し、あるいは失われつつあるこれらの“原点”を、温故知新と技術革新の融合を通して新たなものとして再生する。こうして再生された皮膚感覚での自然観や季節感、時間の変化・移ろいを体感できる心地よさ、機械ばかりに過度に依存せず感じられる生活の豊かさ、そうしたその場の環境と共に生きることのでられる満足感のこと。

日時 / 平成22年11月9日(火) 13時30分～16時30分 (開場 13時00分)

会場 / 住宅金融支援機構 すまい・るホール (東京都文京区後楽 1-4-10)

定員 / 250名 (申込み先着順受付。定員に達した時点で受付終了となります。)

参加費 / 無料

主催 / 一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

後援 / 国土交通省 東京都 独立行政法人 都市再生機構 独立行政法人 住宅金融支援機構
(予定) 財団法人 建築環境・省エネルギー機構 社団法人 住宅生産団体連合会
社団法人 プレハブ建築協会

プログラム

13:30～13:35 (05分) 主催者あいさつ
一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 運営委員長 大内照明

13:35～14:05 (30分) 施策の最新動向
『低炭素社会に向けた省エネルギー基準
義務化への方向性』
国土交通省住宅局 住宅生産課長 橋本公博氏

14:05～14:45 (40分) 基調講演
『低炭素社会の中で環境共生住宅がめざすもの』
芝浦工業大学 名誉教授 三井所清典氏

(休憩 15分)

15:00～16:30 (90分) パネルディスカッション
『2050年に残しておきたい住まい・まち』
○パネラー：一般社団法人住宅クラウドコンソーシアム 専務理事 北上義一氏
首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 建築学域教授 小泉雅生氏
株式会社日建設 東京設計室長 山梨知彦氏
○進行役：東京都市大学 都市生活学部教授 岩村和夫氏

■講演者プロフィール

三井所清典 [ミイショ キヨノリ]

1939年生まれ。芝浦工業大学名誉教授。株式会社アルセッド建築研究所 代表取締役。

1963年 東京大学工学部建築学科卒業。1968年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了後、同年芝浦工業大学工学部講師就任。1982年に教授、2006年に名誉教授となる。また、1970年 アルセッド建築研究所設立 主宰し現在に至る。

地域の気候風土、歴史文化、社会経済、景観や風景、さらには地元の人々の心情が反映する、地域に根ざす建築的環境の創造を主題に建築設計活動を行っている。

主な作品：佐賀県立九州陶磁文化館、下関・一の宮兼営住宅、宮崎県木材利用技術センター、富山県上平村克雪タウン等

北上義一 [キタガミ ヨシカズ]

1954年北海道生まれ。一般社団法人 住宅クラウドコンソーシアム 専務理事。一般財団法人 住宅都市工学研究所 理事、ICT 研究部長。

1976年法政大学経営学部経営学科卒業。1978年独立系システムハウス株式会社メトロ入社。CADを始め、ミニコン・汎用大型機ソリューションの設計製造を手がける。1988年ミサワホーム総合研究所入社。マルチメディア研究室長として、マルチメディアタイトルなど新規事業企画を担当。1999年ミサワバンIT 事業部長、2002年ミサワホーム情報システム部長。グループ全体のシステム企画をASP/SaaS型のICTにて再編・活性化。日経システム大賞など複数受賞歴あり。

2009年以降、情報処理の側面から地域木造住宅の振興を支援する事業を推進中。主な講演・著作テーマ(SOA、JBoss、アウトソーシング、オープンソースソフトウェア、ディザスタリカバリ、WebGIS、住宅クラウド、ユーザーインターフェイスなど)

小泉雅生 [コイズ ミマサオ]

1963年生まれ。首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 建築学域 教授。小泉アトリエ代表。

1988年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。同大学院在学中に株式会社シーラカンス・一級建築士事務所設立。1998年 株式会社シーラカンス・アンド・アソシエイツ(C+A)に改組、代表取締役。2005年 有限会社小泉アトリエ設立。工学博士。

主な作品：鴻巣市文化センター、戸田市立芦原小学校等複合施設、アシタノイエ、ENEOS 創エネハウス、象の鼻パーク・象の鼻テラス等

主な著書：COELACANTH “JAM”(TOTO出版/ギャラリー間叢書06)、変わる家族と変わる住まいー「自在家族」のための住まい論(彰国社/篠原聡子、大橋寿美子と共著)、ハウジング・フィジックス・デザイン・スタディーズ(INAX出版/共著)等

山梨知彦 [ヤマナシ トモヒコ]

1960年生まれ。(株)日建設計 設計部門副代表 設計室長。

1984年 東京芸術大学美術学部建築科卒業。1986年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻(修士課程修了)。工学修士。一級建築士。

1986年、日建設計に入社。オフィス、集合住宅、学校等の設計に携わる。

主な担当作品：住友不動産飯田橋ファーストビル/ファーストヒルズ飯田橋、ホギメディカル本社ビル、ルネ青山ビル、神保町シアタービル、乃村工芸社本社ビル、木材会館など

岩村和夫 [イワムラ カズオ]

1948年生まれ。東京都市大学 都市生活学部教 教授。株式会社岩村アトリエ 代表取締役。

1971年 早稲田大学理工学部建築学科卒業。1973年 同大学院修了。仏政府給費留学生として渡仏。1980年に帰国後、東京にアトリエを設立。エコロジカルな「環境デザイン」の立場に立ち「持続可能な社会」の構築に資する建築・まちづくりのソフト・ハード両面における調査・研究・開発、および企画・計画・実施に係わる活動に従事。

主な作品：カッセル・エコロジー団地、ちきゅうむら一番地、いわき・風舎村、世田谷区深沢環境共生住宅、屋久島環境共生住宅、うつくしま未来博パビリオン、望楼の家 等

主な著書：建築環境論(SD 選書 211/鹿島出版会)、環境共生住宅 A-Z(ビオシティ/共著)、「共に住むかたち(建築資料研究社)、地球環境建築のすすめ(日本建築学会)、地球環境時代のまちづくり(丸善)、CASBEE すまい(戸建)入門(建築技術) 等

会場案内

※会場には駐車場及び飲食施設はございません
 ※ご来場の際は公共交通機関をご利用願います



20周年記念シンポジウムのお申込み方法

申込み表に必要事項をご記入の上、下記の20周年記念シンポジウム事務局まで、メールもしくはFAXにてお申込みください。

20周年記念シンポジウム 平成22年11月9日(火)			
所属		部署	
ふりがな		役職	
お名前			
ご住所	〒		
情報提供 ご希望の 有無	環境共生住宅推進協議会が発行するメールマガジンを	1. 希望する	2. 希望しない
	希望される場合のメールアドレス :		
電話番号	()	性別	1. 男 2. 女
ご職業	1. 住宅関係の会社員 2. 住宅関係の自営業 3. 住宅関係以外の会社員 4. 住宅関係以外の自営業 5. 公務員 6. 専業主婦 7. 無職 8. その他 ()		
ご年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上		
このシンポジウムをお知りになったきっかけ	1. 新聞(新聞名) 2. 雑誌(雑誌名) 3. 環境共生住宅推進協議会のホームページ 3. 環境共生住宅推進協議会からのメールマガジン 4. 知人から 5. 社内情報 6. その他 ()		

20周年記念シンポジウム事務局 (綜建築研究所内 担当: 北川滋春)

メールアドレス: soken@j01.itscom.net

FAX : 03-5436-6032

申込み期限

11月5日(金) 到着分まで

※定員に達した時点で受付終了となります。
 予めご了承下さい。

お問合せ先電話 03-3490-0648 (綜建築研究所)

※綜建築研究所は、協議会からの委託を受け、シンポジウム受付業務を行っています。

(申込みに伴い得た個人情報につきましては、本シンポジウムに係る案内及び連絡、その他協議会が行う講習会・セミナー等の案内の範囲内でのみ利用し、適正に管理いたします。)